

学習活動(教科・時間)	子供の意識の流れ	支援	具体的評価規準
<p>〈第1次〉(図3) 吹田作品を鑑賞し、宇宙や星をイメージした版遊びにチャレンジしよう</p> <p>①「吹田先生の絵とお話してみよう」 ②「5・26 ぼくの星が生まれた」 (クレヨンステンシル) ③「宇宙模様が浮かんできた」 (マーブリング)</p>		<p>◆単元の活動目標へと導くことの出来るような鑑賞作品を選定する。</p> <p>◆型紙のクレヨンを指で伸ばしにくい時は、仮止め用テープなどで型紙を固定する。</p> <p>◆活動を通してクレパスステンシルの表し方を探求的に感じとっていくことができるようにする。</p> <p>◆少しの刺激でマーブリング模様に変化するおもしろさに気付かせる。</p>	<p>鑑 絵のなかで見つけたものや全体の印象を自分の言葉で話している。</p> <p>関 型紙を使うと同じ形の模様ができることやクレパスの伸ばし方で光り方が変わってくることなどを発見しながら楽しく活動している。</p>
<p>〈第2次〉(図4) 誕生した星を目指して宇宙旅行へ出発しよう</p> <p>①「宇宙への道を見つけよう」 ②「宇宙船に乗っていこう」 (立体粘土スタンプ) (野菜スタンプ)</p>		<p>◆マーブリング模様を宇宙模様や探検地図に見立ててとどろんどろろ道をつなげていく。</p> <p>◆版となる宇宙船号を粘土でつくり、宇宙探検をしながら活動できるようにする。</p>	<p>技 新しい模様を見つけようと、色やかき混ぜる道具を自分で選びながら版遊びをしている。</p> <p>発 マーブリングを宇宙模様や探検地図に見立てて、切ったりつなげたりしながら、宇宙への思いを膨らませている。</p>
<p>〈第3次〉(図4・図1) 宇宙でなかよしになった友だちを紹介しよう</p> <p>①「宇宙の友だち、こんにちは」 (見立て遊び) (粘土型押し) ②「友だちの紹介文を書こう」</p>		<p>◆生活科で育てている野菜もスタンプ遊びの材料に用いることで、自然の形のおもしろさなどにも興味を抱かせる。</p> <p>◆偶然にできたマーブリング模様には、たくさんのおもしろい形が隠れていることに気付かせる。</p> <p>◆見つけた友達の色や形からイメージを膨らませる。</p>	<p>技 宇宙船号の軌跡となる色や形の変化に気付きながら、宇宙探検の様子を表している。</p> <p>発 偶然にできたマーブリング模様から、おもしろい姿を見つけ、宇宙の友達のイメージを膨らませている。</p> <p>技 自分が見つけた友達を粘土で表し、インクを付けて写しとって</p>

〈第4次〉(図2・生2)

友だちと一緒に吹田先生の宇宙を旅してこよう

①「吹田先生の作品で音のかくれんぼ遊びをしよう」

②「吹田先生の宇宙を探検してこよう」

(徳島県立近代美術館)

〈第5次〉(図4)

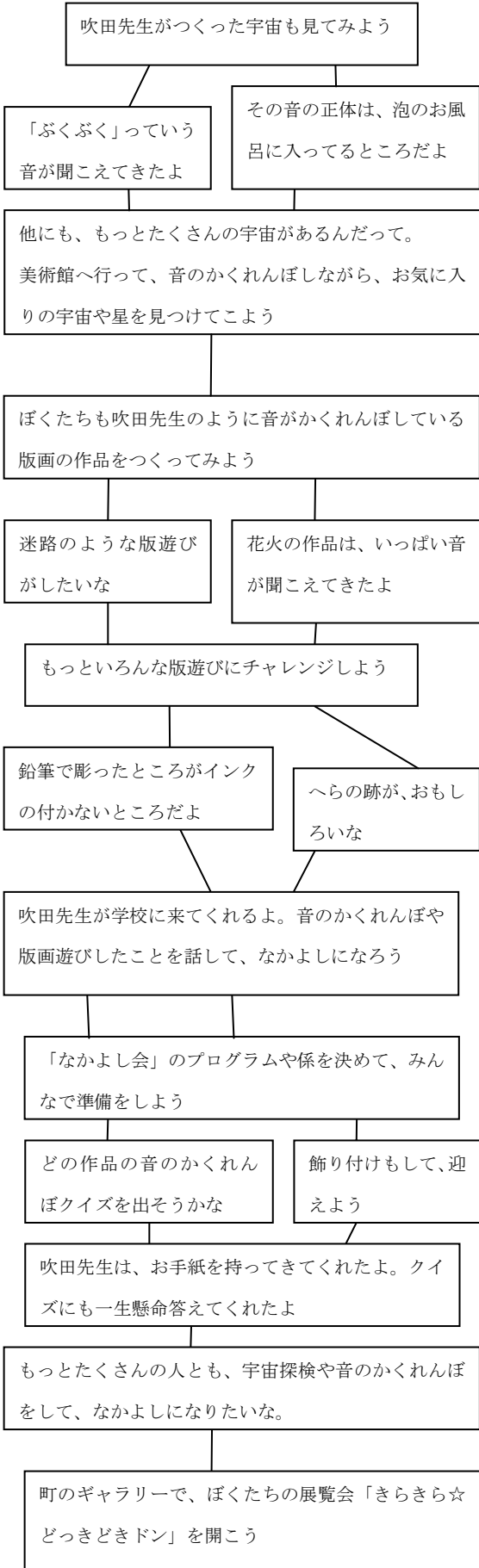
音のかくれんぼしているような版画の作品にチャレンジしてみよう

① 宇宙の迷路で遊ぼう(スチレンボード版画)

② 花火でメッセージを届けよう(モノタイプ)

〈第6次〉(図1・生活2・学活1)

吹田先生を学校に招いてなかよしになろう



らませ、紹介文が書けるようにする。

◆吹田作品と楽しくかわっていくことのできる鑑賞遊び(音のかくれんぼ)の方法を理解させる。

◆美術館での開催されている吹田文庫展に行き、音のかくれんぼ遊びをしたり、版画のおもしろさに気付かせたりしながら作品に親しませる。(美術館での授業は、竹内学芸員がT1を担当する。)

◆吹田展の鑑賞を生かした簡単な版遊びの方法を教え、これまでの経験を生かしながら自分なりに作り方や表し方を試すことができるようにする。

◆作家と共有できる芸術体験をしてきた自信や楽しさを、さらに味わうことのできるプログラムを一緒に考えていく。

◆どの子どもにも、責任感と活躍の場が生まれるように役割を分担し、活動目標をはっきりと示す。

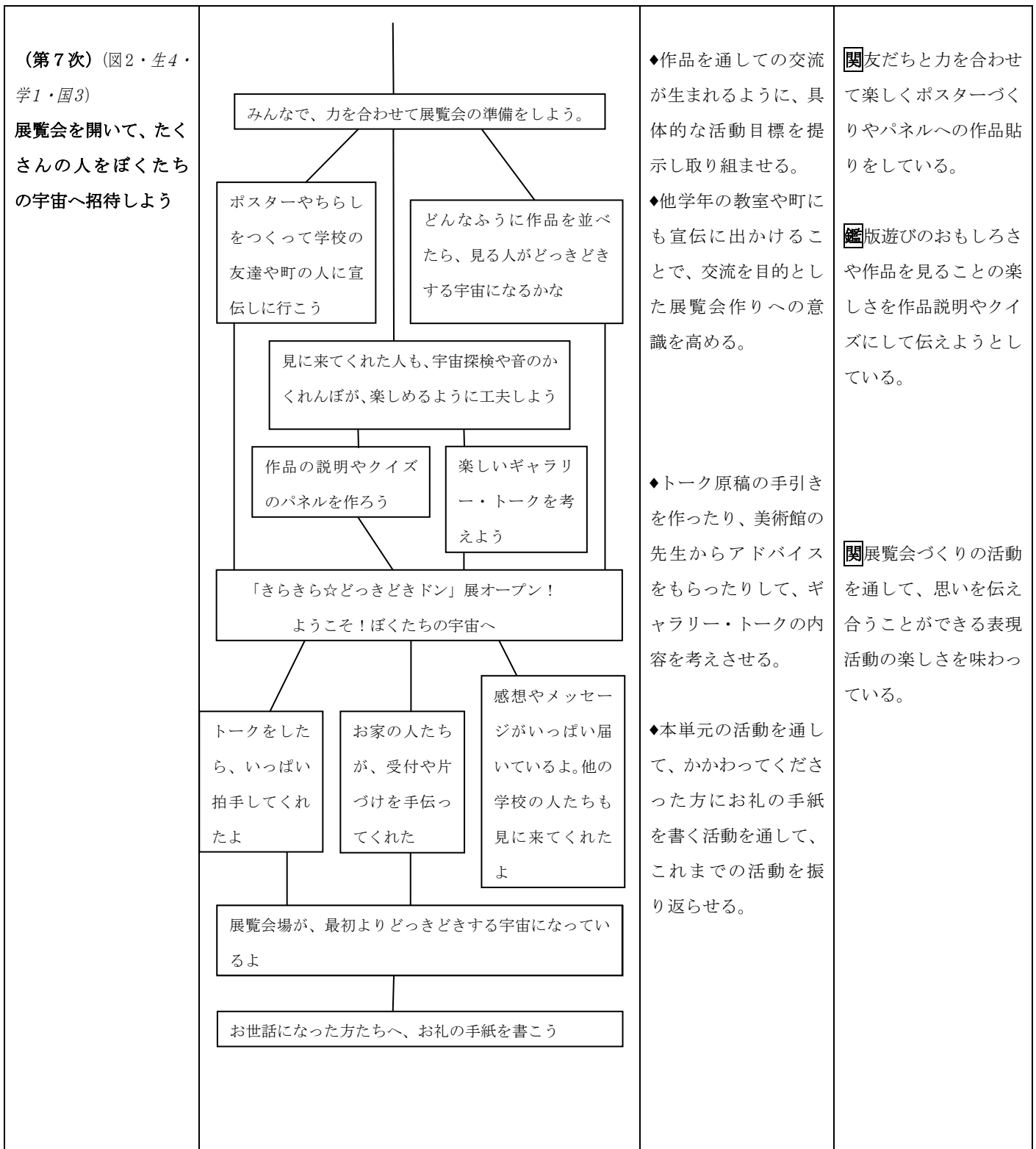
る。

鑑 絵の中から見つけた音やその正体を自分の言葉で鑑賞カードに書いている。

関 音のかくれんぼ遊びをしながら、友達と一緒に吹田作品を楽しく見ている。

技 写したときの形を想像しながら版をついたり刷ったりしている。

関 作家と出会うことを楽しみにしながら、作品説明やクイズなどを意欲的に考えている。



単元構想表 きらきら☆どっきどきドン！1年生

学習者 徳島市富田小学校1年1組（平成18年度）

指導者 徳島市富田小学校教諭 濱口由美